

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 4月22日

津地方裁判所四日市支部

裁判所書記官 大 倉 康 彦

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 5月 7日 午前 9時00分から 令和 8年 5月14日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 5月20日 午前10時00分 場 所 津地方裁判所四日市支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 6月 8日 午前 9時40分 場 所 津地方裁判所四日市支部
特別売却 実施期間	令和 8年 6月 3日 午後 1時00分から 令和 8年 6月 3日 午後 4時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 4月22日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

- 1 所 在 四日市市中川原一丁目
地 番 732番11
地 目 宅地
地 積 200.88平方メートル
- 2 所 在 四日市市中川原一丁目732番地11
家屋 番号 732番11
種 類 居宅
構 造 木造かわらぶき2階建
床 面 積 1階 70.36平方メートル
2階 50.66平方メートル

(未登記附属建物)

- 種 類 便所
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 約2.58平方メートル



物件明細書

令和 8年 3月18日

津地方裁判所四日市支部

裁判所書記官 大 倉 康 彦

-
- 1 不動産の表示
【物件番号1, 2】
別紙物件目録記載のとおり

 - 2 売却により成立する法定地上権の概要
なし

 - 3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1, 2】
なし

 - 4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号2】
本件所有者Cが占有している。

 - 5 その他買受けの参考となる事項
なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載したものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 所 在 四日市市中川原一丁目
地 番 732番11
地 目 宅地
地 積 200.88平方メートル
共有者 A 持分3分の2
共有者 B 持分3分の1

2 所 在 四日市市中川原一丁目732番地11
家屋 番号 732番11
種 類 居宅
構 造 木造かわらぶき2階建
床 面 積 1階 70.36平方メートル
2階 50.66平方メートル

(未登記附属建物)

種 類 便所
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 約2.58平方メートル
所有者 C



令和7年(ケ)第50号
令和8年1月8日受理
令和8年2月13日提出

現況調査報告書

津地方裁判所四日市支部

執行官 野 添 学

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 四日市市中川原一丁目
地 番 732番11
地 目 宅地
地 積 200.88平方メートル
共有者 A 持分3分の2
共有者 B 持分3分の1

2 所 在 四日市市中川原一丁目732番地11
家屋 番号 732番11
種 類 居宅
構 造 木造かわらぶき2階建
床 面 積 1階 70.36平方メートル
2階 50.66平方メートル
所有者 C

不動産の表示	「物件目録」のとおり				
住居表示	三重県四日市市中川原一丁目6番6号				
土 地	物件1				
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)				
形 状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>				
占有者及び占有状況	<input type="checkbox"/> 土地所有者 <input checked="" type="checkbox"/> その他の者(C) 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している 上記の者の占有権原は使用借権である				
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)				
その他の事項					
建 物	物件2				
種類、構造及び床面積の概略	<input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる(<input type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種 類: <input type="checkbox"/> 構 造: <input type="checkbox"/> 床面積:				
物件目録にない附属建物	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;"> 種 類: 便所 構 造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積: 約2.58㎡ </td> </tr> </table>			{	種 類: 便所 構 造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積: 約2.58㎡
{	種 類: 便所 構 造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積: 約2.58㎡				
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を元住居の状態で使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり				
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)				
その他の事項					
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</td> <td style="padding-left: 5px;"> 地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日 </td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> ある			[地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日
[地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日				
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり				

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
<p>■ D (建物所有者Cの姉) (A、Bも臨場)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 私は建物所有者であるCの姉です。土地の所有(共有)者であるA及びBは私やCの父母になります。父母は高齢なので、私が車に乗せて本日臨場しました。建物への立入調査はそちらで実施してください。 2 Cは元々は本件物件所在地に妻子と居住していたのですが、離婚し、その後は一人暮らしをしていました。ただ、今はCと電話が繋がらず、連絡が取れない状態です。 3 Cと両親A、Bとの間に地代のやりとりはないとのことでした。 4 敷地内に建っているトイレの建物は、Cが所有する建物です。 5 西側隣地上の建物は、父が営んでいた工務店の建物です。なお、上水道は本件建物と共通で引いてあるかも知れません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3枚目)

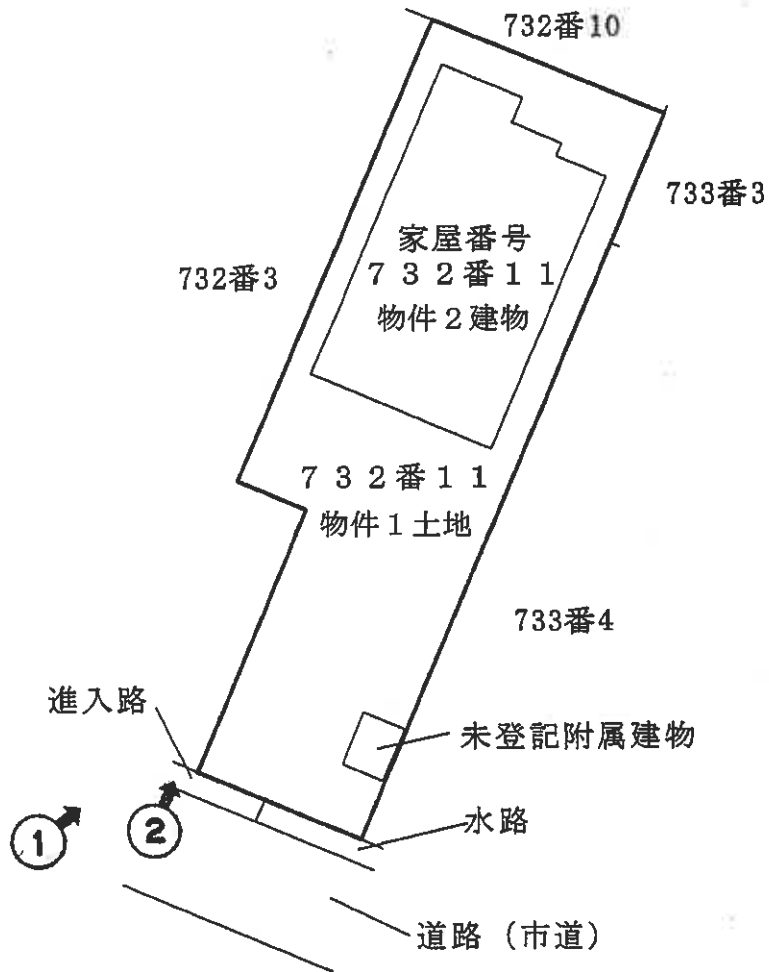
執行官の意見

- 1 本件競売手続の対象は、A及びBが共有する物件1土地と、その上に建つC所有の物件2建物である。なお、A、BはCの両親であるが、他所に居住している。
- 2 本件物件所在地には、建物所有者Cの名字がローマ字表記された表札が存在した。また、物件2建物内には、建物所有者C宛の電力会社等からの複数の郵便物が存在した。
- 3 本件物件への上水道の供給関係について四日市市上下水道局に書面照会したところ、契約者はCであることを確認した。
- 4 Cは住民票上の住所を本件物件所在地に置いているため、C宛に書面照会を行い、現地調査期日の通知を行ったものの、Cとは連絡がつかず、陳述や回答を得ることはできなかった。
- 5 物件2建物の敷地利用権原については、関係人の陳述及び物件1土地所有者との人的関係性を踏まえ、使用借権と認定した。また、物件2建物の占有関係については、物件の現況、関係人の陳述及びライフライン調査の結果を踏まえ、本報告書2枚目記載のとおり認定した。
- 6 物件1土地の西側隣地（地番732番3）は、物件1土地の共有者A、Bが共有する土地であり、現況では物件1土地と地続きの土地として仕切りもなく利用されているような状況にあり、一見すると境界が判然としない。ただし、物件1土地と前記西側隣地については法務局に現地復元能力を有する地積測量図の備付けがあり、境界付近には境界錐の存在も確認できたことから、本格的に測量すれば両土地の境界を特定することは可能と思われる。
なお、現況では、車で物件1土地に進入する際には前述の西側隣地に越境する形で進入しなければならない状況にあるものと思われる（写真①参照）。
- 7 物件1土地の南東端付近に木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建の外便所が存在するが、その用途性及び関係人の陳述を踏まえ、物件2建物の未登記附属建物と認定した。
- 8 物件2建物の屋根には太陽光パネルが存在する。
- 9 物件2建物のバルコニーには、鳥の糞が堆積していた。
- 10 上水道の量水器は前述の西側隣地内に存在した。

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
8年 1月 8日 (木) 13:50-14:00	津地方法務局 四日市支局	公図、登記等調査
8年 1月 9日 (金) 14:35-14:50	物件所在地	現場所在確認、外観写真撮影、通知書差置
8年 1月19日 (月)	執行官室	物件1土地所有(共有)者ら及び物件2建物所有者宛、 現地調査期日通知書等送付
8年 1月19日 (月)	執行官室	四日市市上下水道局宛、照会書面送付 (1/30回答)
8年 1月28日 (水) 9:55-11:30	物件所在地	物件立入調査(全室)、写真撮影、Dから面談聴取、 評価人同行、解錠執行通知書差置
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
<p>(特記事項)</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 令和8年1月28日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Eを立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p> <p><input type="checkbox"/></p>		

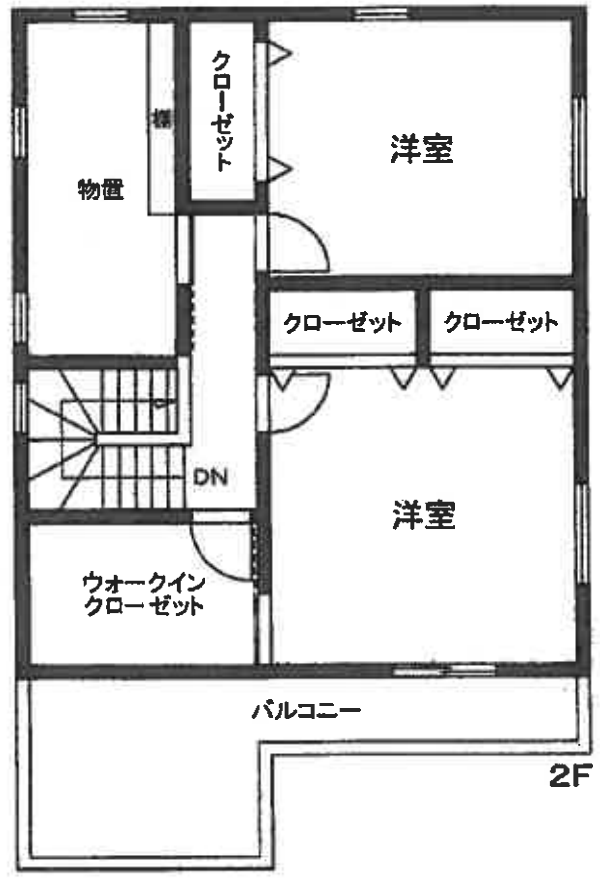
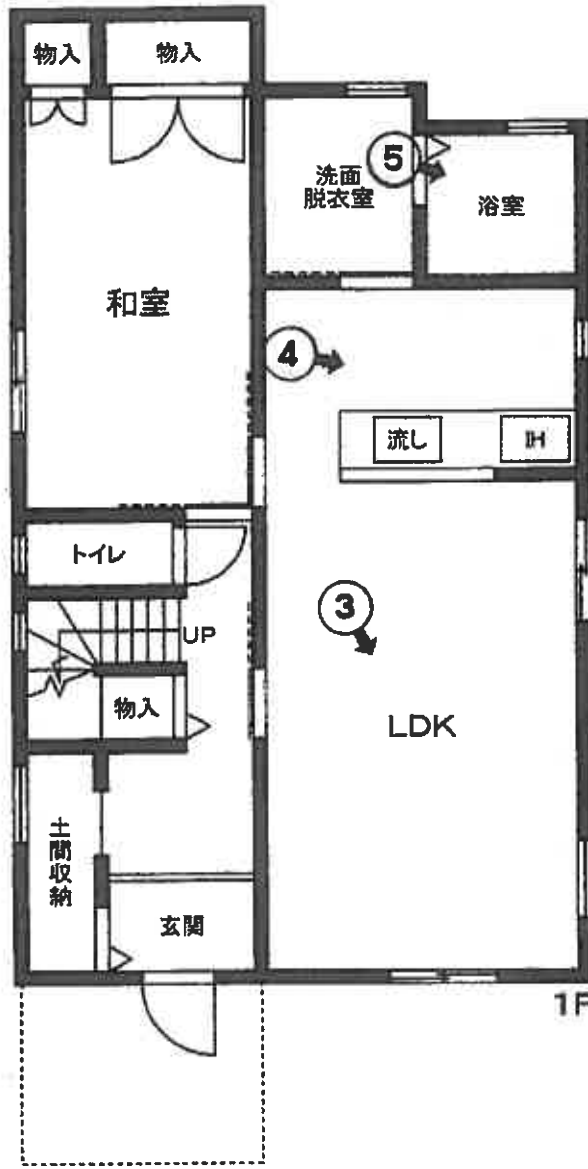
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5枚目)

土地建物位置関係図

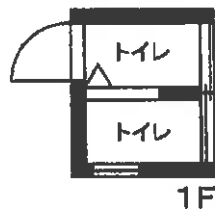


←○の印は写真の撮影位置方向番号

間取図



未登記附属建物



←○の印は写真の撮影位置方向番号

①



未登記附属
建物（便所）

物件 2 建物

②



物件 2 建物

この辺り物件 1 土地

この辺りは 7 3 2 = 3

境界紙

(8 枚目)

③

写真③～⑤は
物件2建物の
内部を撮影



④



⑤



(10枚目)



令和7年(ケ)第50号			
令和	8年	1月28日	現地調査
令和	8年	2月13日	評価

津地方裁判所 四日市支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

前田直人 印

第1 評価額

一括価格	
金 14,290,000 円	
内訳価格	
物件 1 (土地)	金 5,980,000 円
物件 2 (建物)	金 8,310,000 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行う事を前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

* * * 以下余白 * * *

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。
- 5 その他特別の評価条件
特になし。

* * * 以下余白 * * *

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在	四日市市中川原一丁目	
	地番	732番11	
	地目	宅地	
	地積	200.88 m ²	
	所有者	共有者 A 持分3分の2 共有者 B 持分3分の1	
2	所在	四日市市中川原一丁目732番地11	
	家屋番号	732番11	
	種類	居宅	
	構造	木造かわらぶき2階建	
	床面積	1階 70.36 m ² 2階 50.66 m ² 延べ 121.02 m ²	
	所有者	C	
番号	特記事項		
1	○目的物件1の上に以下の未登記附属建物が存する。 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 便所 床面積約2.58m ²		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	近鉄湯の山線「中川原」駅 南東方・直線距離 約420m (附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	戸建住宅や共同住宅のほか事業所等も介在する住宅地域。	
主な公法上の 規制等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	都市計画区分	都市計画区域・市街化区域
	用途地域	第2種住居地域
	指定建ぺい率	60%
	指定容積率	200%
	防火規制	—
その他の規制	—	
画地条件	<ul style="list-style-type: none"> ・地積：200.88㎡（登記地積） ※現況と特に著しい相違は認められない。 ・不整形形状画地 ・間口：約5.9m，奥行：約26.7m ・概ね平坦地勢 	
接面道路	<ul style="list-style-type: none"> ・南西側 幅員約3.6m（種別：市道），舗装有 ※建築基準法第42条2項道路 ※接面道路とほぼ等高～約0.5m高い ※目的物件1土地と道路との間に水路（巾約0.9m）が介在しており，公共物（水路）使用許可（平成28年8月23日付 四日市上下水道局 指令四水総第1160号-2）が取得されているが，更新されているかは不明である。四日市市上下水道局総務課管財係での聴取によると，目的物件の買受人は公共物（水路）使用許可について，事前に協議が必要とのことである。 ※上記水路に橋が架けられ，進入路としているが，当該進入路は西側隣接地（732番3）と共用となっており，目的物件1の南東側境界付近には塀があるため，進入間口が非常に狭く，普通車の進入は困難であるものと思われる。普通車で目的物件1土地に進入する際には西側隣接地に越境して進入しなければならない状況にある。 	
土地の利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・現況宅地 ・目的物件2の敷地として利用されている。 	
供給処理施設 (注)	上水道	有（特記事項参照）
	ガス配管	無（特記事項参照）
	下水道	有（特記事項参照）
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市上下水道局総務課での聴取によると，水道メーターが西側隣接地（732番3）にあり，目的物件1と共用になっているとのことである。新たに水道メーターの設置や水道の引込費用の発生可能性がある。 ・都市ガスについて，東邦ガスへの聴取によると，南西側道路にガス管が埋設されているが，目的物件への引込は不明である。 ・四日市市上下水道局総務課での聴取によると，下水道本管が南西側道路に埋設されており，目的物件へ引込がなされているが，上記のとおり水道が共用となっているため，西側隣接地所有者と協議が必要となる可能性がある。 ・未登記附属建物が存在した。 ・目的物件1は，現在までの利用履歴や現在の利用状況から土壤汚染の可能性は低いと思料するが，土壤調査を行っていないため詳細は不明である。 	

(注) 「有」，「無」の基準については，以下のとおり。

※「有」：該当施設の本管から，目的物件内への引込がなされている。

※「無」：該当施設の本管から，目的物件内への引込がなされていない。

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主たる建物			
建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建築年月日（登記記載）	平成29年1月12日 新築		
	経 過 年 数	10 年		
	経済的残存耐用年数	12 年		
仕 様	構 造	木造		
	屋 根	瓦葺		
	外 壁	サイディングなど		
	内 壁	クロスなど		
	天 井	クロスなど		
	床	フローリングなど		
	設 備	電気，給排水，衛生など		
	そ の 他	太陽光パネル		
床面積（現況）	1階	70.36 m ²	2階	50.66 m ²
	延べ	121.02 m ²		
現況用途等	現 況 用 途	居宅		
	間 取	別添建物見取図参照		
品 等	普通			
保 守 管 理 の 状 態	劣る			
建物の利用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅として利用 ・ 建物所有者が元住居の状態で使用している（「現況調査報告書」参照）。 			
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物のバルコニーには，鳥の糞が堆積していた。 ・ 中古建物の市場での取引価格水準を勘案して後記建物価格の算定における観察減価率を査定した。 			

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別 格差 イ	地積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ=オ
1	63,700	0.82	200.88	1.00	10,490,000

※万円未満切捨

ア 標準画地価格・・・・・・ 別紙「標準画地価格決定表」参照。

イ 個別格差・・・・・・ 0.82 下記条件の相乗積による。

- ・環境条件 0.92（下記条件による）
上水道引込等費用発生可能性
- ・画地条件 0.89（下記条件の相乗積による）
方位 1.04
形状 0.95
進入間口狭小 0.9

ウ 地 積・・・・・・ 登記数量による。

エ 建 付 減 価・・・・・・ 建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。なお、未登記附属建物を含めて査定した。

番号	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延床 面積(m ²) イ※	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ=エ
2	240,000	123.60	0.45	13,340,000

※床面積に未登記附属建物の床面積含む。

※万円未満切捨

ウ 現価率・・・・・・ 耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた。

$$\text{現価率} = \left\{ \text{残価率} 0.05 + (1 - 0.05) \times \frac{12 \text{ <注1>}}{(10 + 12) \text{ <注2>}} \right\} \times (1 - 0.20) \text{ 観察減価率}$$

$$= 0.45$$

※小数点第3位四捨五入

<注1>経済的残存耐用年数
<注2>経過年数

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ	土地利用権等価格 (円) ア×イ=ウ
1	10,490,000	0.05 使用借権	520,000

※万円未満四捨五入

イ 土地利用権等割合

・土地利用権等を使用借権と判定し、その割合を5%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) <1(1)オ> <1(2)エ> ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) <2(1)ウ> イ	占有 減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	10,490,000	- 520,000	/	1.00	0.60	5,980,000
2	13,340,000	+ 520,000	1.00	1.00	0.60	8,310,000
一 括 価 格 (合計)						14,290,000

※万円未満切捨

ウ 占有減価修正：特になし。

エ 市場性修正：特になし。

オ 競売市場修正

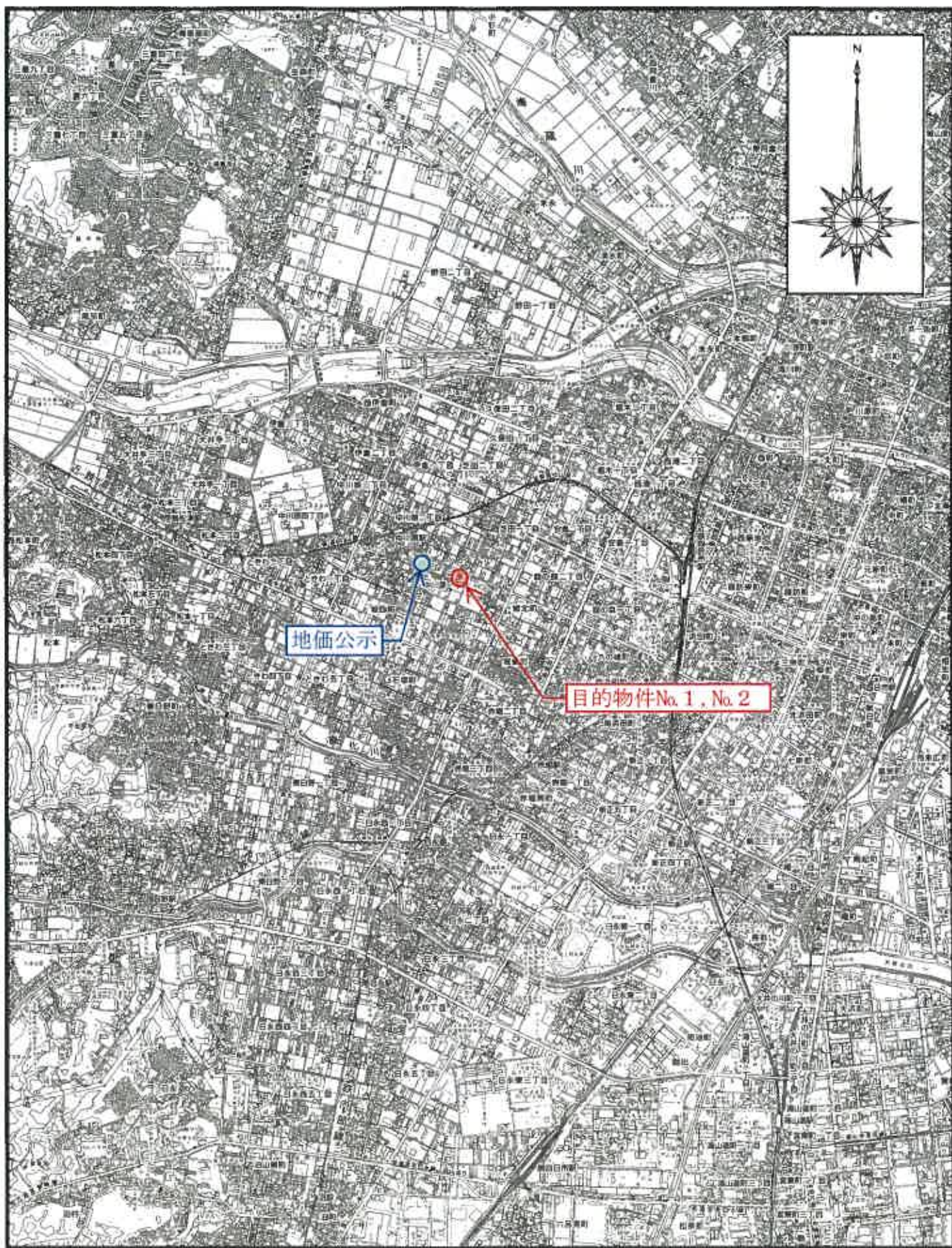
・評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 附 属 資 料

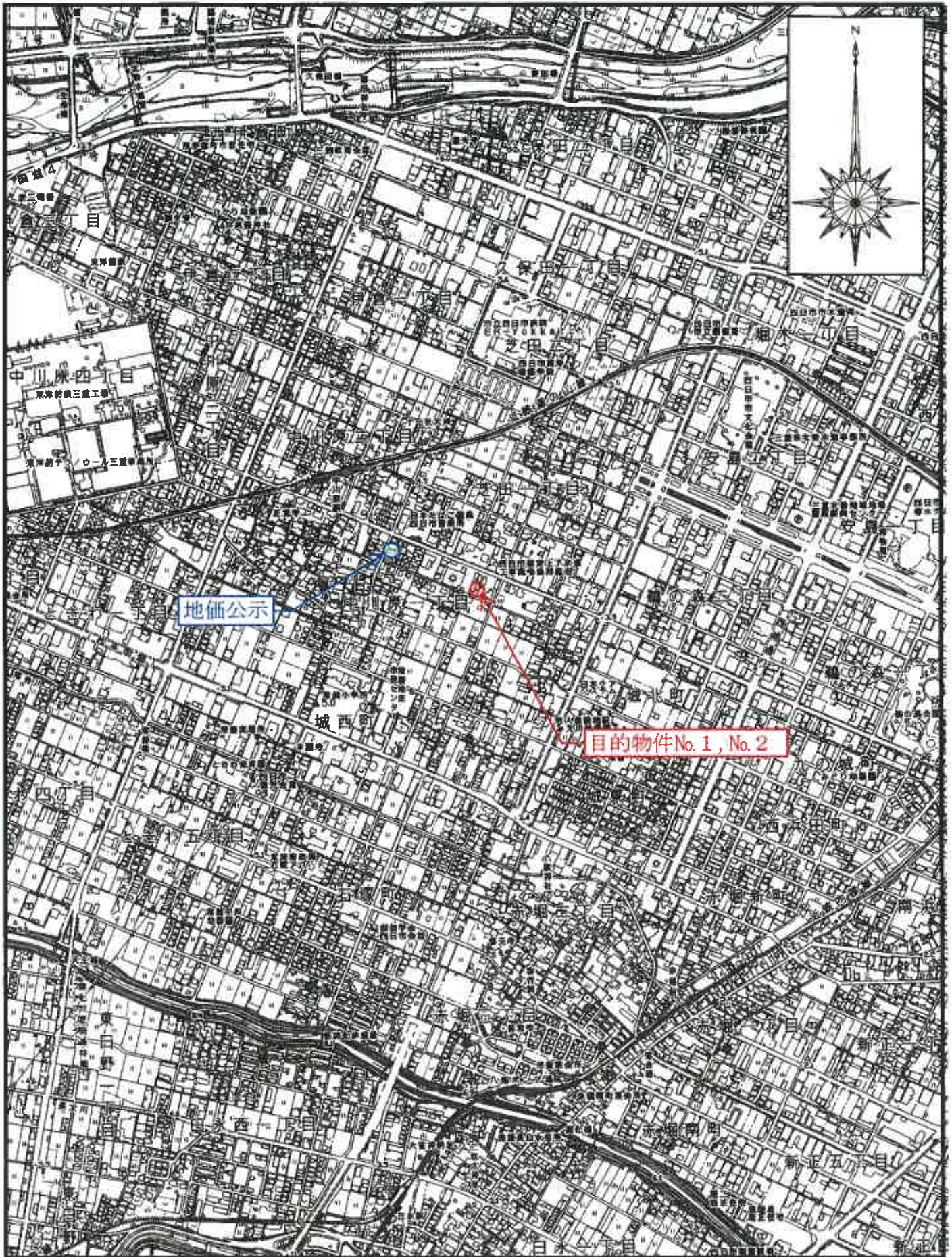
- ・ 位置図
- ・ 公図写し（法務局備付図面に基づく）
- ・ 地積測量図写し（同上）
- ・ 建物図面写し（同上）
- ・ 各階平面図写し（同上）
- ・ 略配置図
- ・ 建物見取図
- ・ 仮名一覧表

以 上

附 属 资 料

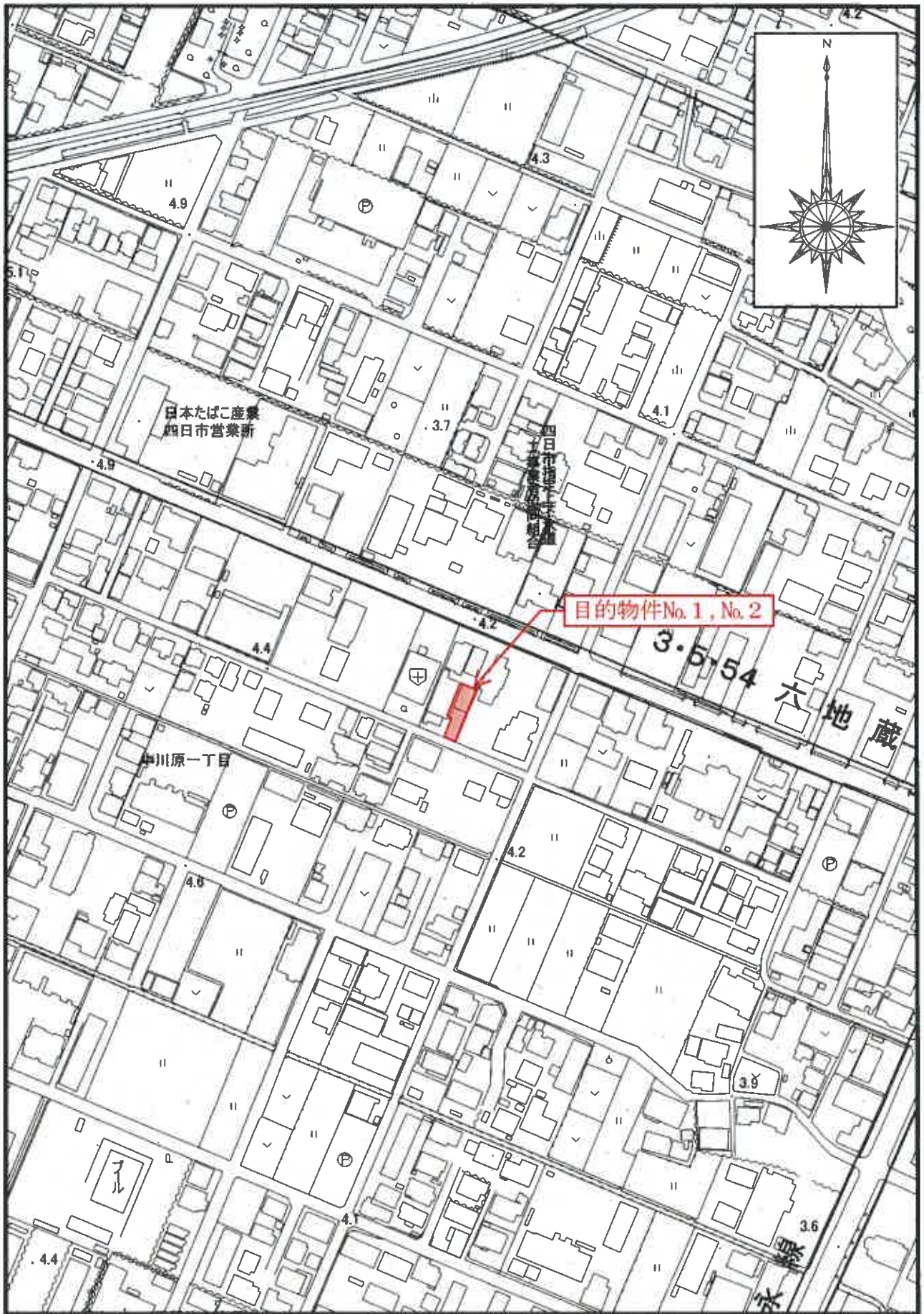


位置図 S = 1 : 25000
※四日市市役所『白図』



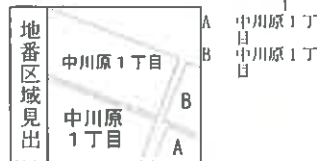
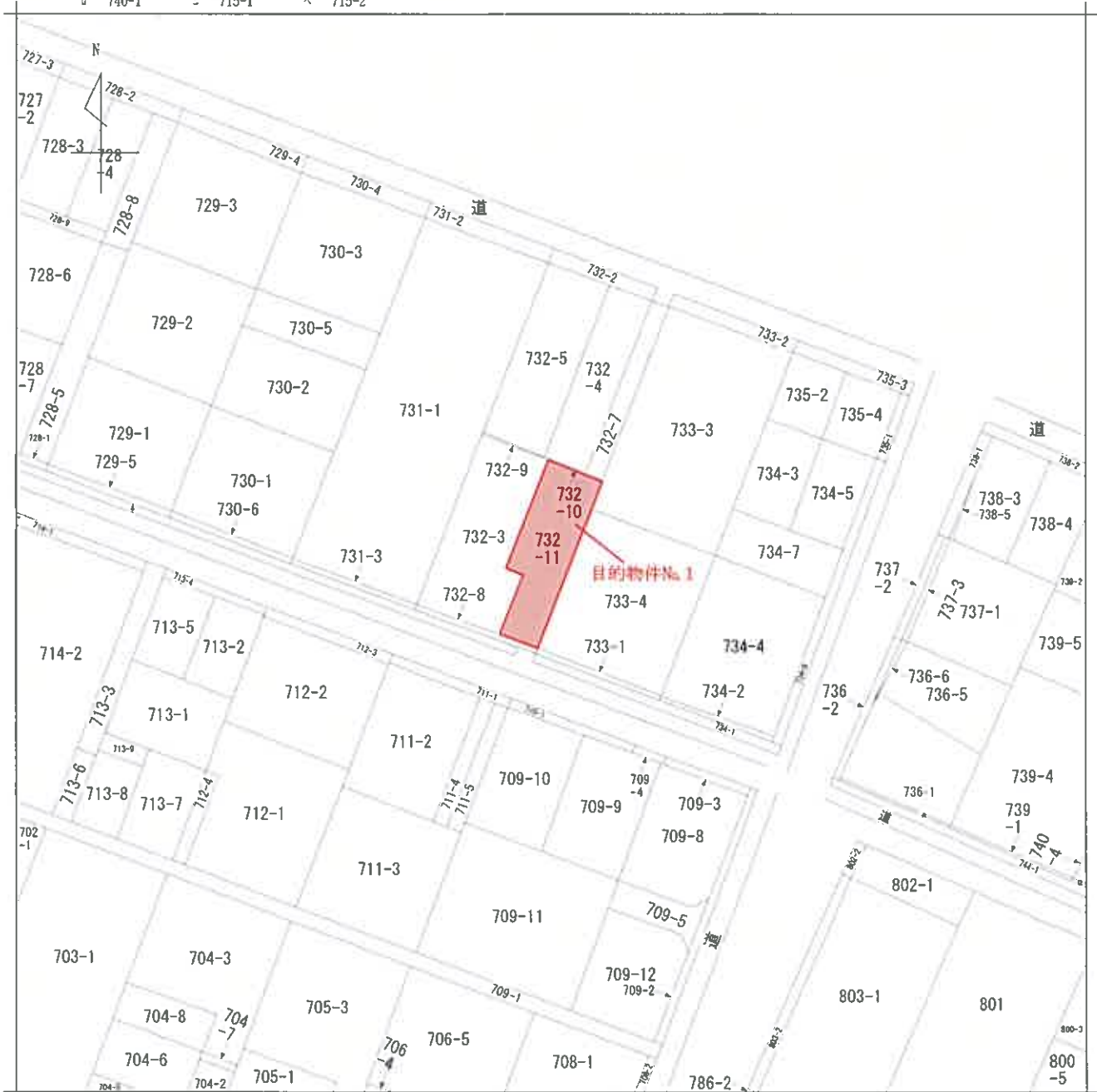
位置図 S = 1 : 10000

※四日市市役所『白図』



位置図 S = 1 : 2500
※四日市市役所『白図』

イ 736-3 ハ 736-4 ホ 732-1
 ロ 740-1 ニ 715-1 ヘ 715-2



請求部	所在	四日市市中川原一丁目			地番	732番11		
出力縮尺	縮尺不明	精度区分	座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項	

登記年月日：平成28年8月8日

土地積測量図

732-3
732-9~732-11

番
土地の所在

四日市市中川原一丁目

座標求積表 (平面座標座標系: WJ系)

点名	X	Y	X _{n+1} -X _n	Y _{n+1} -Y _n	Y _n (X _{n+1} -X _n)
C109-1	-114393 037	55388 122	-21 007	-1163138 145854	
CPL20	-114417 577	55356 889	-29 410	-1026103 800880	
BK2	-114422 447	55370 513	4 016	222087 880208	
BK1	-114413 581	55374 185	9 857	545823 144405	
B203	-114412 580	55371 884	19 517	914877 077688	
C204	-114397 044	55378 421	15 630	865564 720230	
BK3	-114396 960	55378 457	0 443	24332 856451	
P104	-114398 801	55377 571	0 390	21397 252690	
GK7	-114396 570	55377 488	3 684	192385 402872	
倍面積					505 927800 m ²
面積					292 8639000 m ²
地					292 8639000 m ²

点名	X	Y	X _{n+1} -X _n	Y _{n+1} -Y _n	Y _n (X _{n+1} -X _n)
G1	-114392 831	55369 209	3 256	180282 144504	
C109-1	-114393 827	55389 122	-3 738	-207025 147158	
GK7	-114396 870	55377 498	-3 256	-190309 133488	
GK3	-114396 293	55377 614	3 738	207058 898748	
倍面積					4 762504 m ²
面積					2 5812020 m ²
地					2 5812020 m ²

点名	X	Y	X _{n+1} -X _n	Y _{n+1} -Y _n	Y _n (X _{n+1} -X _n)
GK3	-114398 893	55377 614	3 324	184628 965076	
GK7	-114396 870	55377 498	-0 308	-17056 289384	
P104	-114396 801	55377 571	-0 390	-21597 252680	
BK3	-114396 980	55378 457	-3 528	-188430 574753	
P102-1	-114400 130	55386 285	-2 844	-162087 220640	
GK2	-114399 804	55386 380	3 837	215517 540060	
倍面積					5 188269 m ²
面積					2 8926345 m ²
地					2 8926345 m ²

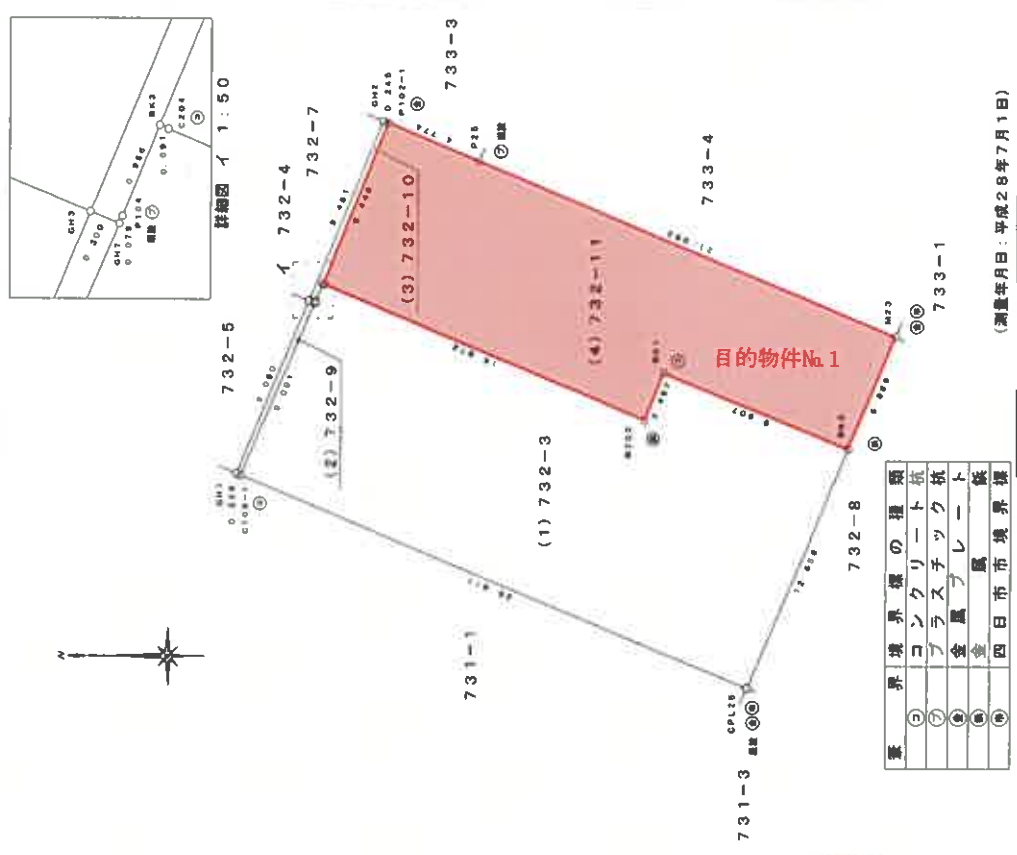
点名	X	Y	X _{n+1} -X _n	Y _{n+1} -Y _n	Y _n (X _{n+1} -X _n)
BK3	-114396 860	55378 457	3 086	170887 919302	
C204	-114397 044	55378 421	-15 630	-865564 720230	
B203	-114412 580	55371 884	-16 517	-914877 077688	
BK1	-114413 581	55374 185	-9 887	-545823 144405	
BK2	-114422 447	55370 513	-11 151	-617436 690483	
M23	-114424 712	55375 948	17 914	992004 750388	
P25	-114404 533	55384 440	24 582	1361480 504080	
P102-1	-114400 130	55386 285	7 572	419440 326305	
倍面積					401 778287 m ²
面積					200 8881435 m ²
地					200 8881435 m ²

総計 488 8258000

点名	座標	X	Y
BK6	電子座標	-120315 379	58160 401
BK6	電子座標	-105070 581	63331 702

(会員専用)

別記第一号 (第七十四条第三項関係)



番号	境界線の種類
①	コンクリート垣
②	プラスチック植
③	金属フェルト
④	金風
⑤	風
⑥	風
⑦	風
⑧	風

(測量年月日：平成28年7月1日)

作成者 [Redacted] 縮尺 1/250

申請人 [Redacted] 縮尺 1/250

地積測量図写し

(A3をA4に縮小)

(三重県土地家屋調査士会 用紙)

登録年月日：平成29年1月18日

建物図面
各階平面図

家屋番号
732番11

建物の所在
四日市市中山原一丁目732番地11

別記第二号 (第七十四条第三項関係)



求積表

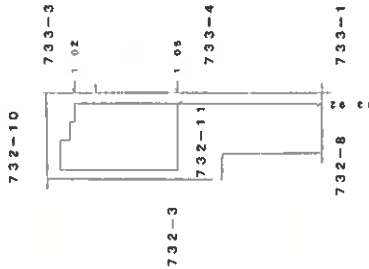
11.375	x	2.910	=	33.101250
10.465	x	1.820	=	19.046300
10.010	x	1.820	=	18.218200
合計				70.365750
床面積				70.36m

2階



求積表

7.735	x	6.550	=	50.664250
床面積				50.66m



作成者

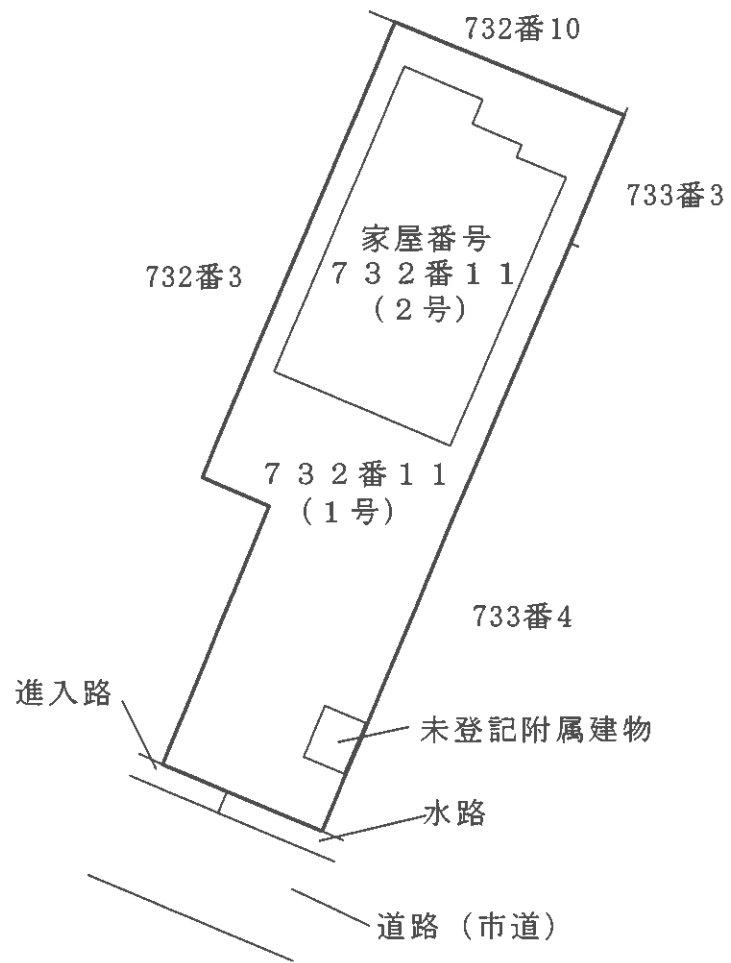
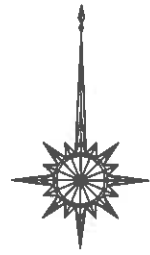
縮尺 1/250

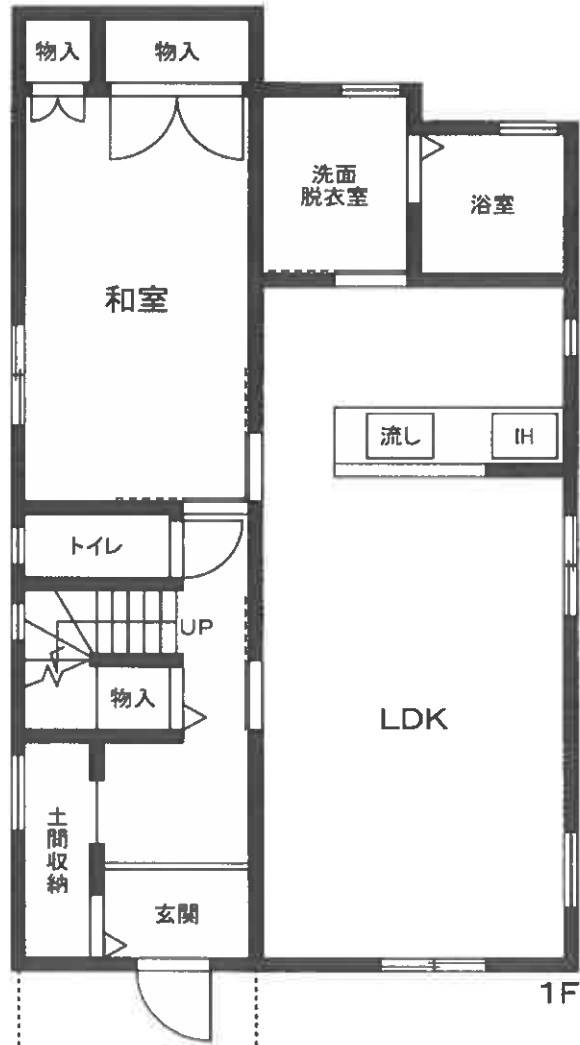
申請人

縮尺 1/500

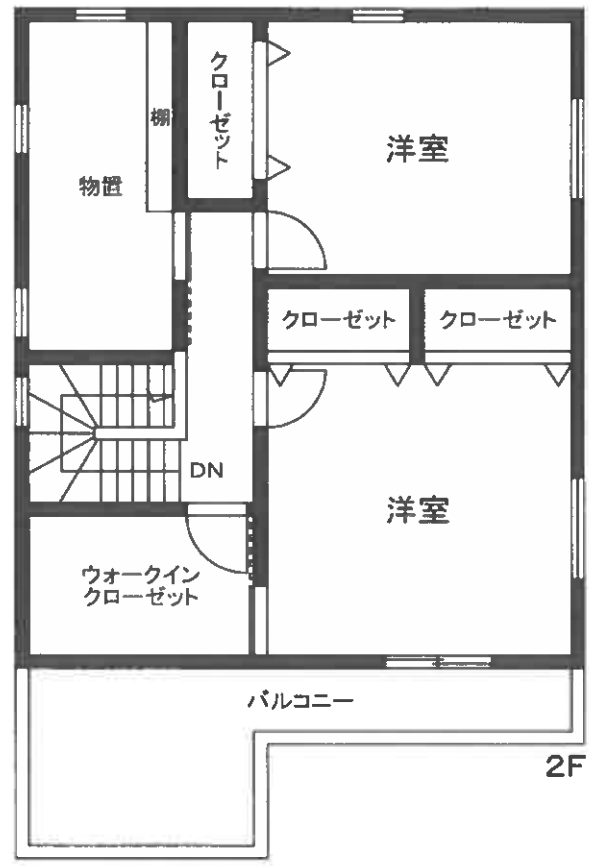
(会 員 専 用)

(三重県土地家屋調査士)



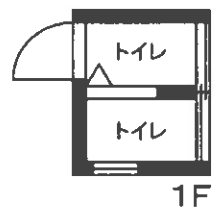


1F



2F

未登記附属建物



1F

2号建物見取図